

コース名	DX経営人材コース		
講座名	—		
科目名	行政DX情報システム入門		
必修・選択	—	単位	—
概要・目的	情報システム及びプラットフォームの考え方、データ及びデータベースの考え方、及びソフトウェア開発のための基礎について学ぶことを通して、行政DXに関わる情報システムを導入するための基礎となるリテラシー・知識・スキルを身に付ける。		
到達目標	情報システムを理解し、設計するための基礎となる最低限の基盤的なリテラシー、知識、スキルを身に付け、情報システムの要件定義を経験者とともに実施できることを目標とする。		
授業方法	講義＋演習	実施形態	遠隔非同期
評価方法	課題（小テスト・レポート）及び最終レポートにより評価する。		
授業項目	1	問題発見と解決	
	2	ブレインストーミング技術（マインドマップ、ラウンドロビン法など）	
	3	ビジョン思考（Mission/Vision/Value）によるバックキャスト思考	
	4	デザイン思考によるユーザー視点の情報システム	
	5	PDCAサイクルとアジャイル開発	
	6	データ構造とデータの種類	
	7	構造化データとデータベースの正規化（RDB）	
	8	情報システムとユースケース（UML）	
	9	DFDによる情報システムにおけるデータの流れ	
	10	UMLによるコンポーネント図を使った業務データの格納方法	
	11	アルゴリズムと制御構造（コンピュータに合わせた業務フロー）	
	12	UMLによるアクティビティ図を使った業務フローの記載方法	
	13	ソフトウェア開発の方法（ウォーターフォール、アジャイル）	
	14	プラットフォーム、フレームワークの考え方とパッケージソフト	
	15	システム間の情報通信（APIという考え方）	
使用教材	オンライン上で提供しているプレゼンテーション資料、および文書作成、表計算、プレゼンテーション用のアプリケーション		
特記事項	学修想定時間20時間程度。途中で課題（小テスト、レポート）を用意し、視聴のみにならないものとし、身に付けることを目指す。		